

事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	ユニバーサル都市・福岡の推進	
所管課	総務企画局企画調整部	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 少子高齢化や都市のグローバル化などに伴い、本市に暮らし、訪れる様々な人々の価値観やライフスタイルに対応するまちづくりが求められている。
開始年度	平成23年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-1-1	施策成果指標 ユニバーサルデザインの概念の理解度 (2022年度:70%) ユニバーサルデザインの取組みへの評価 (2022年度:65%)	
分野別目標	再	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策		ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり		
事業群		ユニバーサル都市・福岡の推進		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民、地域、企業、学校など
	対象をどのような状態にしたいのか 市民等が、ユニバーサルデザインの考え方を理解し、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちになっている。
事業目的	

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○福岡版ユニバーサルマナー検定の実施 ・福岡市オリジナルの講座「福岡版ユニバーサルマナー検定」をオンラインで実施 (実施回数:7回、申込総数:506件、総受講者数:453名) ○「ユニバーサル都市・福岡」公式Instagramの開設 ・福岡市内の身近にあるユニバーサルデザイン(場所、サービス)、多様な主体の取組みなどについて、クイズ形式の写真で紹介(フォロワー数:546人) ○企業・団体向けホームページの開設 ・すでに実践されている取組み(10社)を紹介するホームページを開設 ○市政だより等を活用した啓発 ○事業者等との連携 ・外国人向けトイレ用マナーステッカー等の配布 ○小学4年生向け副読本の作成・配布 ○市職員向けの研修(新規採用職員研修、eラーニング)及び市民向け出前講座(2回)の実施

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		7,487
歳入	特定財源	0
	一般財源	7,487
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1 R3
歳出合計		8,516 8,418
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	8,516 8,418

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																								
	○ユニバーサル都市・福岡賞の実施 ○ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの開催 ○市民等に身近な場所での啓発 ○小学生向け副読本の作成・配布 ○市職員向け研修の実施 ○福岡版ユニバーサルマナー検定の実施	○市民等が、ユニバーサル都市・福岡賞に応募する ○市民等がフェスティバルに参加する ○市民等がユニバーサルデザインに触れる ○小学生がユニバーサルデザインについて学ぶ ○市職員がユニバーサルデザインについて理解し、業務に取り入れる	○行政だけでなく、市民・地域、企業、学校などがユニバーサルデザインの大切さについて十分に理解し、具体的な取組みを行っている。	○みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」が実現し、市民の生活の質や市の魅力が向上する。																																																								
	活動の指標	指標の内容	指標の内容	指標の内容																																																								
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th colspan="2">最終年度</th> </tr> <tr> <td>ユニバーサル都市・福岡のロゴマークの掲出箇所数(配布枚数)</td> <td>目標 1,000 実績 6,258 達成率 625.8%</td> <td>目標 1,000 実績 6,704 達成率 670.4%</td> <td>-</td> <td colspan="2">R年度 -</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標 - 実績 - 達成率 -</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">R年度 -</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標 - 実績 - 達成率 -</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">R年度 -</td> </tr> </table>	年度	実績			目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度		ユニバーサル都市・福岡のロゴマークの掲出箇所数(配布枚数)	目標 1,000 実績 6,258 達成率 625.8%	目標 1,000 実績 6,704 達成率 670.4%	-	R年度 -			目標 - 実績 - 達成率 -			R年度 -			目標 - 実績 - 達成率 -			R年度 -		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th colspan="2">最終年度</th> </tr> <tr> <td>ユニバーサルデザインの概念の理解度</td> <td>目標 55 実績 48.4 達成率 88.0%</td> <td>目標 65 実績 58.3 達成率 89.7%</td> <td>-</td> <td colspan="2">R6年度 70</td> </tr> <tr> <td>ユニバーサルデザインの取組みへの評価</td> <td>目標 45 実績 44.5 達成率 98.9%</td> <td>目標 58 実績 44.3 達成率 76.4%</td> <td>-</td> <td colspan="2">R6年度 65</td> </tr> <tr> <td>「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度</td> <td>目標 - 実績 54.2 達成率 -</td> <td>目標 - 実績 54.2 達成率 -</td> <td>-</td> <td colspan="2">R6年度 65</td> </tr> </table>	年度	実績			目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度		ユニバーサルデザインの概念の理解度	目標 55 実績 48.4 達成率 88.0%	目標 65 実績 58.3 達成率 89.7%	-	R6年度 70		ユニバーサルデザインの取組みへの評価	目標 45 実績 44.5 達成率 98.9%	目標 58 実績 44.3 達成率 76.4%	-	R6年度 65		「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度	目標 - 実績 54.2 達成率 -	目標 - 実績 54.2 達成率 -	-	R6年度 65
年度	実績			目標																																																								
	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																								
ユニバーサル都市・福岡のロゴマークの掲出箇所数(配布枚数)	目標 1,000 実績 6,258 達成率 625.8%	目標 1,000 実績 6,704 達成率 670.4%	-	R年度 -																																																								
	目標 - 実績 - 達成率 -			R年度 -																																																								
	目標 - 実績 - 達成率 -			R年度 -																																																								
年度	実績			目標																																																								
	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																								
ユニバーサルデザインの概念の理解度	目標 55 実績 48.4 達成率 88.0%	目標 65 実績 58.3 達成率 89.7%	-	R6年度 70																																																								
ユニバーサルデザインの取組みへの評価	目標 45 実績 44.5 達成率 98.9%	目標 58 実績 44.3 達成率 76.4%	-	R6年度 65																																																								
「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度	目標 - 実績 54.2 達成率 -	目標 - 実績 54.2 達成率 -	-	R6年度 65																																																								

事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	農山漁村地域など市街化調整区域の活性化	
所管課	総務企画局企画調整部企画課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 農山漁村地域など市街化調整区域は、自然とまちの調和がとれたコンパクトな都市を形成するうえで大変重要な役割を担っているが、人口減少や高齢化の進展等に伴い、農林水産業の振興やコミュニティの維持など様々な課題を抱えており、活性化の取組みが必要となっている。
開始年度	平成27年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市第9次基本計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	4-4-3	なし	
	再			
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
施策	まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり			
事業群	農山漁村地域など市街化調整区域の活性化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	農山漁村地域など市街化調整区域
	対象をどのような状態にしたいのか	<ul style="list-style-type: none"> 地域において活性化に向けた主体的な取組みが進められている。 農山漁村地域でのビジネス展開について、事業者からの相談・提案などが行われている。 地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向けたマッチングが行われている。
事業目的	誰(何)を対象として行うのか	農山漁村地域など市街化調整区域
	対象をどのような状態にしたいのか	<ul style="list-style-type: none"> 地域において活性化に向けた主体的な取組みが進められている。 農山漁村地域でのビジネス展開について、事業者からの相談・提案などが行われている。 地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向けたマッチングが行われている。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ol style="list-style-type: none"> ①地域主体のまちづくり活動の支援 関係部局が連携し、地域の活性化に向けた具体的な活動(産直市など)の支援を行った。 ②空き家・空き地等の発掘 民間事業者の進出先となる空き家・空き地の発掘を目的として、志賀島・北崎の物件情報の収集・整理及び事業者ヒアリングを行った。 ③事業者へのヒアリング(進出意向等) 規制緩和の制度内容や地域の魅力について情報提供を行い、民間事業者の需要喚起を行った。 ④地域と事業者のマッチング 進出意向のある事業者と地域の対話の場を設定した。
----------	-------------------------------	--

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		4,959	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	4,959	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		7,058	7,400
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	7,058	7,400

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体のまちづくり活動の支援 空き家・空き地等の発掘 事業者へのヒアリング(進出意向等) 地域と事業者のマッチング 	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の活性化に向けた意欲が向上する。 農山漁村地域に関心を示す事業者等の進出先が確保される。 事業者からの対象地域への関心が高まる。 地域住民と事業者が繋がる機会が生まれる。 	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	<ul style="list-style-type: none"> 地域において活性化に向けた主体的な取組みが進められている。 地域の空き地・空き家の情報が随時集約される。 農山漁村地域でのビジネス展開について、事業者からの相談・提案などが行われている。 地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向けたマッチングが行われている。 	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした新たなビジネスが生まれ、農林水産業や観光業の振興など、地域の活性化が図られる。 新たなビジネスが地域の雇用を生み、定住人口が増加する。 				
	活動の指標	地域において実施される会合等への参加件数	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	地域と事業者のマッチング支援数	指標の内容	実績	目標		
			年度	R1年度	R2年度			R3年度	最終年度	年度	R1年度	R2年度
		目標	13	10	10		R年度	目標	3	3	2	R年度
		実績	10	8			-	実績	2	1		-
達成率	76.9%	80.0%	-	達成率	66.7%	33.3%	-					
事業者ヒアリング等の実施	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	制度活用による施設立地申請の件数	指標の内容	実績	目標				
	年度	R1年度	R2年度			R3年度	最終年度	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
目標	30	30	30		R年度	目標	1	1	1	R年度		
実績	30	54			-	実績	1	1		-		
達成率	100.0%	180.0%	-	達成率	100.0%	100.0%	-					

事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

事業名	都心のまちづくりの推進		
所管課	総務企画局企画調整部企画課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成17年度		福岡都心部の更なる賑わい創出や魅力向上をおこなう必要性があったため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	4-6-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
施策	ストックの活用による地区の価値や魅力の向上			
事業群	エリアマネジメントの推進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	都心部
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	官民共働により、都心部の魅力や回遊性の向上、美しい景観の形成や安全・安心の空間を創出する。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	天神地区・博多地区において、地域・企業などが会員となって、魅力的なイベントの実施、回遊性向上や来街者のおもてなし、まちの美化、防犯・防災活動等のまちづくり活動を実施しているエリアマネジメント団体(天神地区: We Love 天神協議会、博多地区: 博多まちづくり推進協議会)に負担金を支出するとともに、エリアマネジメント団体のまちづくり事業に対し支援を行った。 令和2年度は上記に加え、フリンジパーキング社会実験、和の博多(デジタルスタンプラリー)の開催、えきまえ通りdeマルシェ(公道弁当販売)等に取り組んだ。

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
	歳出合計	10,522
歳入	特定財源	10,725
	一般財源	▲ 203
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1 R3
	歳出合計	24,136 24,180
歳入	特定財源	9,600 9,600
	一般財源	14,536 14,580

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) エリアマネジメント団体に負担金を支出するとともに、エリアマネジメント団体のまちづくり事業に対し支援を行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) エリアマネジメント団体による、まちづくりイベント、集客促進活動、安全安心・環境向上活動が進む。 また、エリアマネジメント団体の自主財源が拡大する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 福岡都心部の価値や魅力の向上とエリアマネジメント団体(会員企業)の運営の改善の好循環が生まれる(エリアマネジメント団体の活動が活発になり、自立的に多様な活動を行えるようになる)。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 福岡都心部の価値や魅力が高まり続け、福岡市全体の競争力、集客力を牽引する。			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		エリアマネジメント団体数	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
			目標	2	2	2	R 年度
実績			2	2	-		
達成率	100.0%	100.0%					
目標					R 年度		
実績							
達成率							

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	福岡都心部は賑わいがあり訪れたい魅力があると感じる市民の割合	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	80.0	80.0	80.0	R 年度
		実績	80.2	81.1		-
達成率	100.3%	101.4%				
目標					R 年度	
実績						
達成率						

事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	産学官民連携による国際競争力強化	
所管課	総務企画局企画調整部企画課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アジアと日本の玄関口であり、暮らしの質の高さが世界から評価されている福岡であるが、今後は人口減少などにより経済成長が衰退する見込みがある。今後、福岡の活力を維持強化していくためには、産学官民が一体となって、国際競争力を高め、地域経済をグローバル化することで、アジアの内需を取り込んでいくことが必要である
開始年度	平成23年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画					
施策コード	主	6-1-1			施策成果指標 なし
	再	5-4-1	7-5-3	8-1-1	
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている				
施策	産学官連携による、知識創造型産業の振興				
事業群	知識創造型産業の振興				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡都市圏
	対象をどのような状態にしたいのか ・福岡地域戦略推進協議会(FDC)において、産学官民が一体となって策定した「地域戦略」を推進し、国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域となっている。
事業目的	

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 地域戦略を推進していくための産学官連携組織である「福岡地域戦略推進協議会」に負担金を支出し、地域の成長を実現する質の高いプロジェクトの検討経費、コンソーシアムの組成支援、市民向けシンポジウムの開催経費などの支援を行った。なお、福岡市は正会員として参画している。(負担金内訳: 正会員年会費: 300千円、協賛金等: 34,700千円)

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		35,000	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	35,000	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		35,000	35,000
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	35,000	35,000

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・福岡地域戦略推進協議会が策定した地域戦略を推進するために、4つの部会を中心としてプロジェクト等の構築を行う。 ・イベントや情報発信を通じて、市民との共有を行いながら戦略を推進していく。	・部会などでプロジェクトが創出される。 ・地域戦略の市民への共有が図られる。	次々とプロジェクトが構築・推進されることにより、域内外から人と投資が呼び込まれ、戦略の目標が達成される。	福岡都市圏が東アジアのビジネスハブとして、日本・中国・韓国・台湾などのビジネス交流拠点となり、多様な人材が訪れ、働き・暮らす、国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域となっている。		
活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)		
活動の指標	部会などによるプロジェクトの創出支援	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	継続	継続		
		実績	-	-	継続	継続
		達成率	-	-		
		目標			R 年度	
		実績				
		達成率				
成果の指標(KPI)	域内総生産(GRP)年平均成長率	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	-	-	増加	R12年度
		実績	-	-		2.06%
		達成率	-	-		
		目標			R12年度	
		実績			増加	515万円
		達成率				

事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	留学生支援・ネットワーク構築事業	
所管課	国際政策課	背景 地域競争力を強化し活性化を図る上で、地域やわが国を支える人材として、また、世界で活躍できる高度人材、あるいは出身国と福岡との橋渡しをする人材として、留学生が重要な存在となっている。そこで、優秀な留学生の本市への集積を促進するとともに、本市留学経験者を含め、地域における活用を図る必要があったため。
開始年度	昭和63年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	8-5-1	就労目的の在留資格をもつ外国人の数 (R4目標値:4,000人)	—
	再			
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている			
施策	グローバル人材の育成と活躍の場づくり			
事業群	グローバル人材の育成・集積		施策成果指標	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	留学生・既卒留学生 帰国した留学生 留学を検討している海外の学生 日本人大学生 市民 地元企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	留学生をグローバル人材として育成し、活用・定着を促進するとともに、福岡ゆかりのグローバル人材のネットワークの強化・拡大を図り、「グローバル人材が集い・活躍するまち」を目指していくことで、都市としての国際競争力において優位性を発揮し、都市間競争に打ち勝っていく。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○留学生等を対象とした有償の長期就業体験(インターンシップ)事業 福岡での就職を希望する留学生等を、在留資格の規制緩和も活用して、留学生採用を希望する地元企業に派遣するインターンシップ事業を実施し、留学生等の地元企業への就職を支援した。 ○「福岡市国際財団奨学金」による優秀な人材の福岡への呼び込み ○留学生の育成と活用・定着を促進する産学官連携の枠組み「グローバルコミュニティFUKUOKA推進プラットフォーム」の運営 ○経済界、大学、県などと構成する「福岡県留学生サポートセンター」における海外リクルート活動や就職支援の実施 ○スタートアップ奨学金事業 日本人大学生の海外留学と地元での創業・就職の実現に向けた支援を実施した。 ○留学生への新型コロナウイルス感染症防止対策や経済支援策についての情報発信

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計	5,184		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	5,184	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	7,127	5,757	
	特定財源	400	0
歳入	一般財源	6,727	5,757

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																
	▶	▶	▶	▶																																																																																
活動の指標	海外の「日本留学フェア」等へ出展し、福岡への留学生の呼び込みを実施する。 ・留学生と市民の交流を促進する。 ・留学生等を対象とした地元企業でのインターンシップ事業を実施する。 ・本市留学経験者を含む留学生とのネットワーク構築を行う。 ・日本人大学生の留学を促進する。	・留学を検討している海外の学生が福岡市を知り、福岡市に留学する留学生が増加する。 ・留学生に対する市民の理解と協力を得られる。 ・既卒留学生等が、インターンシップ事業により、自分のスキル・志望に合った地元企業と出会い、双方の合意をもとに就職することができる。 ・帰国した留学生とのネットワークにより、交流活動が活発化する。 ・日本人大学生が海外に留学し、グローバル人材として育成される。	・福岡市で就職する留学生が増加する。 ・地域での留学生の人材活用を行うことができる。 ・本市留学経験者が、福岡市に愛着を持ち、福岡市の発展に貢献する。 ・日本人大学生がグローバル人材として福岡市で就職または創業する。	・福岡市が「グローバル人材が集い・活躍するまち」となっている。 ・産学官が連携して、グローバル人材の育成に取り組んでいる。 ・福岡ゆかりのグローバル人材ネットワークが世界中に広がっている。																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡市内の大学・短大に在籍する留学生数(各年5月1日時点)</td> <td>目標</td> <td>4,548</td> <td>5,533</td> <td rowspan="3">4,103</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3,695</td> <td>3,644</td> <td rowspan="2">4,103</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>81.2%</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	福岡市内の大学・短大に在籍する留学生数(各年5月1日時点)	目標	4,548	5,533	4,103	R4年度	実績	3,695	3,644	4,103	達成率	81.2%	65.9%		目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">就労目的の在留資格をもつ外国人の数(各年9月末時点)</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6,013</td> <td>5,988</td> <td rowspan="2">4,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	就労目的の在留資格をもつ外国人の数(各年9月末時点)	目標	—	—	—	R4年度	実績	6,013	5,988	4,000	達成率	—	—		目標				R 年度		実績						達成率				
指標の内容	年度			実績		目標																																																																														
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																															
福岡市内の大学・短大に在籍する留学生数(各年5月1日時点)	目標	4,548	5,533	4,103	R4年度																																																																															
	実績	3,695	3,644		4,103																																																																															
	達成率	81.2%	65.9%																																																																																	
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																															
就労目的の在留資格をもつ外国人の数(各年9月末時点)	目標	—	—	—	R4年度																																																																															
	実績	6,013	5,988		4,000																																																																															
	達成率	—	—																																																																																	
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			

事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	ビジネス展開に向けた国際貢献・国際協力の推進	
所管課	国際協力課 アジア連携課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アジアの諸都市は、急激な経済成長に伴う都市問題に直面している。一方、福岡市は、「住み良いまちづくり」のノウハウを持っているため、都市問題解決に寄与することにより、国際貢献・協力を図るもの。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点	
施策コード	主 再	8-6-1			視察・研修受入人数 (R4年度目標値:1,700人)
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている				
施策	アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進				
事業群	ビジネス展開に向けた国際貢献・国際協力の推進				
施策成果指標					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 海外の諸都市
	対象をどのような状態にしたいのか 市の「住み良いまちづくり」を広くアジアに紹介し、アジアにおける都市問題解決に寄与することで、国際貢献・国際協力を積極的に推進する。この取組みにより、アジアにおいて知名度やステイタスを向上させアジアでの存在感を高めるとともに、ビジネスも含めた事業展開をめざす。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○国際ビジネス展開プラットフォーム(PF)会員企業向けオンラインセミナーを開催(R2.12)
	○福岡市独自でヤンゴン市へ技術職員を長期派遣実施(H29.2～、継続)
	○PF内外の地場企業のヒアリングを実施し、支援方策を検討
	○大使館、JICAなど国際協力に係る関係機関等との協議・連携強化
	○PF会員企業のJICA中小企業支援事業等採択支援
	○水道・下水道・環境などの分野における、JICA事業等による技術職員派遣(技術協力)(担当局にて実施)
	○オンラインを活用した海外からの視察・研修生受入

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		15,896	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	15,896	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		42,592	37,713
歳入	特定財源	0	1,500
	一般財源	42,592	36,213

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	▶	▶	▶	▶
	▶	▶	▶	▶
	▶	▶	▶	▶
	▶	▶	▶	▶

活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム会員企業との連携活動件数(単年)	目標		8	8		R 年度
	実績		8	5	5	-
	達成率		100.0%	62.5%		
	目標		5	5		R 年度
国際会議・国際機関等を通じた広報活動件数	実績		2	1	5	-
	達成率		40.0%	20.0%		
	目標		5	5		R 年度

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
地元企業の海外ビジネス展開件数(累計)	目標		5	5		R 年度
	実績		4	5	6	-
	達成率		80.0%	100.0%		
視察・研修受入人数(人)	目標		1,280	1,400		R4年度
	実績		402	175	1,550	1,700
	達成率		31.4%	12.5%		